

祝 自転車活用推進功績者表彰受賞(2025年度)

金沢自転車ネットワーク協議会の 15年の歩みと今後の役割

2007
2025

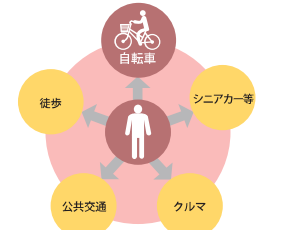
金沢の自転車施策のあゆみ | 金沢の自転車施策がスタートした2007年度から4つの時期に分けて振り返ります。

金沢の自転車施策は、これまで大きな災害や戦災を免れてきた城下町特有の狭い道路空間を活かし、「歩行者・自転車・クルマのそれぞれが、安全で安心して通行できる」人中心の道路交通環境の創出を基本理念として進めてきました。2025年度にはこれまでの活動が評価され、自転車活用推進本部から「自転車活用推進功績者」として表彰されました。

「金沢自転車ネットワーク協議会」とは？

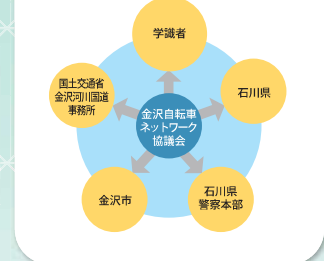
基本理念 人中心の交通体系

自転車通行空間整備は、「人中心の交通体系」を支える一つの手段であることを前提とし、人があらゆる交通手段を安全・快適に利用できるよう、自転車通行空間整備の観点から、道路空間のあり方を検討



構成 実務者レベルでの構成

- 学識者、道路管理者(国・県・市)、警察(県警本部・所轄警察署)により構成
- 面的に連続した自転車通行空間の整備により、歩行者・自転車・クルマのそれぞれが、安全に安心して通行できる道路空間の創出を目指す



2007-2010 黎明期

歩行者を守る視点から自転車通行空間整備に着手し、多様な関係者の連携、合意形成手法を試み確立

【2007年度】金沢河川国道事務所
バス専用レーンを活用した「自転車専用走行帯」の整備

国道156号(越前川大橋)→山崎山土川にかけて、狭い路上の歩行者を守るため、自転車の通行が容易な専用走行帯と車線内に明示した全自動の車道標示を設置

【2009-2010年度】石川県
自転車通行環境整備モデル地区における「自転車専用走行帯」の整備

一般道車道整備準備(橋本町第一地区)において、整備地区内の「自転車専用走行帯」の整備を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2010年度】金沢市
「金沢市まちまちな自転車利用環境向上計画」の策定と街路における「自転車専用走行帯」の整備

はしる、自転車専用走行帯(自転車専用走行帯)の策定と、自転車専用走行帯の整備を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2010年度】金沢河川国道事務所
「金沢自転車ネットワーク協議会」の設立と「自転車ネットワーク」形成に向けた活動の開催

学識者、道路管理者(国・県・市)、警察(県警本部・所轄警察署)により構成

2011-2013 構築期

「まちのり」の導入や「ガイドライン」及び「ネットワーク」の策定を通じて、自転車利用環境の基盤を構築

【2011年度】金沢市
金沢市公共レンタサイクル「まちのり」の導入

金沢駅から二次交通の充実や中心市街地の活性化向上を目的として、市民の利便性を高めるため、誰でも借りやすい「まちのり」を導入

【2012年度】石川県
警察が主体となった「自転車専用走行帯」の整備

石川県警が主体となり、地域住民や学校関係者等を交えて、自転車専用走行帯の整備を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2013年度】金沢自転車ネットワーク協議会
金沢のローカルルールを盛り込んだ「金沢自転車通行空間整備ガイドライン」の策定

道路環境の考え方や整備の方法、安全の確保、歩行者との共存など、多岐にわたる内容を盛り込んだ「金沢自転車通行空間整備ガイドライン」を策定

【2013年度】金沢自転車ネットワーク協議会
「金沢市中心市街地の自転車通行空間整備ネットワーク」の策定

中心市街地の自転車通行空間整備を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

2014-2017 推進期

まちなかでの実績をもとに、広域的な視点で自転車通行空間整備をさらに推進

【2014年度】石川県
通勤・通学者の多い幹線道路における「広域的な自転車ネットワーク」の整備

国道156号(越前川大橋)周辺に、通勤・通学者の多い幹線道路における「広域的な自転車ネットワーク」の整備を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2015年度】金沢自転車ネットワーク協議会
金沢市内における「広域的な自転車ネットワーク」の策定

金沢市内全域にわたって「広域的な自転車ネットワーク」の整備を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2016年度】金沢自転車ネットワーク協議会
自転車利用者や自動車ドライバーを対象とした「金沢のルール・マナー」の普及

自転車利用者や自動車ドライバーを対象とした「金沢のルール・マナー」の普及を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2014年度制定・2017年度改正】金沢市
「金沢市における広域的な自転車ネットワーク」の策定

金沢市における「広域的な自転車ネットワーク」の整備を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

2018~ 発展期

自転車通行空間整備と並行して、道路の「使い方」を周知するために、自転車ルール・マナー教育を推進

【2018年度】金沢自転車ネットワーク協議会
金沢自転車ネットワーク協議会による「自転車ルール・マナー」の普及

金沢市における「自転車ルール・マナー」の普及を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2019年度】金沢自転車ネットワーク協議会
「金沢のルール・マナー」の普及

「金沢のルール・マナー」の普及を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2020年度】金沢自転車ネットワーク協議会
高校生を対象とした「金沢のルール・マナー」の普及

高校生を対象とした「金沢のルール・マナー」の普及を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2021年度】金沢自転車ネットワーク協議会
「金沢のルール・マナー」の普及

「金沢のルール・マナー」の普及を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

【2024年度】金沢自転車ネットワーク協議会
「金沢のルール・マナー」の普及

「金沢のルール・マナー」の普及を進め、歩行者と自転車の安全な共存を実現

金沢の自転車施策における6つのポイント

- 連携**
既存の道路に自転車通行空間整備をするには、継続的な検討体制が必要で、あらゆる立場の関係者が参加し、現状・課題の共有、整備内容に関する関係者の合意形成とそのプロセスが重要になります。
- 勉強会**
勉強会の目的は、国・県・市・警察による一年間の取り組みを発表し、その経験を共有することにあります。勉強会は新たな自転車施策にかかわる担当者への学びの場でもあります。
- 調査**
歩行者・自転車・バス・クルマそれぞれの立場で、一方的な思い込みや、固定観念的な見方になることがあります。客観的なデータに基づき課題を明らかにすることで、誤解力のある合意形成が入ります。
- ガイドライン**
自転車通行空間整備に関する共通ルールを設けることで、統一した整備ができます。2013年8月には国土交通省との統一基準となる「金沢自転車通行空間整備ガイドライン」を策定しました。
- ネットワーク**
協議会では、自転車ネットワーク路線を選定し、市民や道路管理者が将来像を共有することにより、整備促進に前向きな姿勢が生まれます。
- フォローアップ**
ハード整備の効果を高めるためには、協働で進めるソフト対策(街頭指導等)が重要になります。協議会では、整備前後の事故件数を分析するなど、常に改善策を提示できる態勢で臨んでいます。

協議会の取組による主な効果

- 金沢市内における自転車通行空間整備は、2007年度のバス専用レーンを活用した自転車専用走行帯整備をきっかけに広がり、2024年度までに45.3kmが整備済み、中心市街地や郊外部の高校周辺など、自転車の交通需要が高いエリアや路線を優先的に整備しています。
- ↓ 面的な自転車ネットワークの整備や交通安全教育などが一因となり、金沢市内の自転車関連事故が17年間で約20%に減少。整備済路線の方が未整備路線に比べて、1km当たりの事故減少件数が大きく、整備による効果が出ています(全エリアで同様の傾向あり)。

■ 金沢市内における自転車通行空間整備延長

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
延長(km)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45.3

■ 全国と金沢市の自転車関連事故の比較

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
発生件数(金沢市)	670	610	510	410	310	210	110	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107
発生件数(全国)	1000	900	800	700	600	500	400	300	200	100	100	100	100	100	100	100	100	100

■ 整備済路線と未整備路線の1km当たりの事故減少件数

整備済路線	1.83	1.53	1.33	1.13	0.93	0.73	0.53	0.33	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
未整備路線	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83

協議会の今後の取組・役割

- 現場第一での自転車利用環境施策の推進**
これまで関係者が「連携・協働」した取組を進めてきましたが、今後も現場第一で自転車通行空間整備を進めていきます。
- 勉強会を通じた金沢の取組発信と全国の先進都市との交流促進**
毎年1回開催している金沢での勉強会を通して、自転車施策の取組や情報収集を行い、協議会の活動もアップデートしていきます。今年も、11/21(金)に開催予定です。是非お越しください！
- モデルケースとして自転車施策を近隣自治体へ拡大**
金沢市の近隣自治体も自転車施策に取り組み動きが出ており、モデルケースとなるように連携し、自転車ネットワークの拡大などを検討していきます。